

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年10月16日(14:00~15:30)  
令和2年10月29日(14:00~15:30)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 13名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	9人	2人	0人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前の情報に頼るのではなく、積極的に利用者との関わりを増やし、自ら本人を知ろうとする意識を持つようにする。</li> <li>・本人、家族との会話も大切にし、関係性の構築に努めていく。</li> <li>・些細なことでも関わった内容を記録に残していく。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的にコミュニケーションを取り、スタッフ及び他の利用者様となじめる環境作りが出来た。</li> <li>・些細な事でも記録に残し、手順書の変更等を職員連絡ノートやミーティングを活用して情報共有が出来た。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	6人	7人	0人	0人	13人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2人	9人	2人	0人	13人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	2人	11人	0人	0人	13人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2人	8人	2人	1人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・初回利用の日は、自分から話しかけて1対1で話す時間を持つようにしている。(傾聴にて不安に軽減、一日の流れの声掛け)</li> <li>・本人や家族から相談や質問を受けた場合には、分かりやすく説明し、曖昧な返答をしないようにしている。</li> <li>・本人の希望をなるべく伺おうと声掛けを行っている。(本人に寄り添う姿勢)</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録を後回しにしてしまう事があり、スタッフとの共有が遅くなってしまう事がある。</li> <li>・他者の内面を推し量ることは可能だが、本当にそれが本人の考えと同一なのか分からない。</li> <li>・本人、家族との会話の中で、知り得た有用な情報をもっと積極的に記録に残すべきだった。</li> <li>・他者の対応もあるため、じっくりと関わる事が難しい事もある。</li> <li>・本人が必要としている支援より、家族が希望している支援の方が重要視されている。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎、訪問時にご本人・ご家族との会話をより一層大切にし、些細な事でも記録に残し、スタッフ間で共有する事を継続する。</li> <li>・初回利用から2週間を目安にADL等項目ごとに細かく記録して担当者を中心に手順書を見直し、ミーティングのモニタリング時に再評価を行い、情報を共有する。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年10月16日(14:00~15:30)  
令和2年10月29日(14:00~15:30)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 13名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	5人	0人	13人

前回の改善計画
・事前の情報だけではなく、日々の関わりの中から、本人の興味のあるものを探っていき、ケアに活かしていく。短時間でもいいから、利用者と一緒に楽しむことを意識して、業務を行う。実施したことは記録に必ず残し、次の援助に繋げていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・今年度より情報シート(センター方式)の記入を実施したが、収集された情報が周知されず日々のケアに生かされていない。 ・日々の関りの中で気付いた内容、変化等意識して業務を行うことが出来た。 ・たたみもの、習字、体操等センターにて短時間で出来る興味のあることを実施出来た。 ・その時の状態や会話の中で、本人がしたい事を把握し、実現する様に努め、笑顔がよく見受けられた。 ・訪問時、限られた時間の中でケアが作業的になる事があった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	1人	7人	4人	1人	13人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0人	9人	3人	1人	13人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0人	7人	5人	1人	13人
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0人	4人	8人	1人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・目標についてケアマネージャー、担当を中心に理解、全体へ周知と実践に繋がるよう努められた。 ・各利用者の情報シート(センター方式)を作成したことで少しずつ分かってきた。 ・本人の気持ちに添えるように訪問時間を調整している。 ・居宅介護計画書を基にニーズを理解している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・コミュニケーションが難しい方に対して、本当の思いを一緒に見つけ出そうとする積極性に欠けている。 ・利用者が自分で出来る所を過剰な介助をしてしまう場面があった。 ・目標を意識した関りが出来ていない。(ケアに活かさない) ・安全面を考えると本人の希望に添えない事があった。 ・その日、その時の状態から、「今日はこういうことを試してみたらこうだった」等の情報共有があまり出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・モニタリングのタイミングで情報シートの情報提供や周知を担当者中心に行っていく。 ・職員間で声を掛け合い協力することでご利用者に関わる時間を増やし、興味のある事を探っていき、ご利用者・スタッフが相互に楽しめるツールを増やし、実践していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年10月16日(14:00~15:30)  
令和2年10月29日(14:00~15:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 13名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	4人	7人	2人	0人	13人

前回の改善計画
・年1回は暮らしシートや基本台帳・手順書を見直し、更新していく。 ・スタッフが共有すべき情報をしっかり見える化し、対応していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・定期的に又はその都度手順書の見直し更新を行い、ある程度スタッフ間で対応の統一が出来た。(ミスの軽減に繋がった) ・スタッフ間で共有すべき情報を早急に記録や職員連絡ノート・ミーティング等で共有し、支援に繋げることが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1人	5人	4人	3人	13人
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5人	7人	1人	0人	13人
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0人	7人	5人	1人	13人
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3人	10人	0人	0人	13人
⑤ 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3人	9人	1人	0人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・手順書、暮らしシートについては、随時確認し、変更点などは担当と相談しながら都度修正している。 ・ミーティングや連絡ノートの活用で情報を共有し対応できている。(状況に合わせた支援) ・予定変更等があれば職員(ケアマネ、厨房)に情報を伝えている。 ・各利用者に応じた食事、入浴、排泄等の基本的介護が実践できた。 ・本人の心身の変化に気付いたときは情報共有し、改善に努めることが出来た。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・基本台帳の見直しが不十分で情報が不足している部分がある。 ・以前の暮らし方が把握できていない。現在の暮らしの様子だけを把握してしまっている。 ・暮らしシートを有効に活用できていない。 ・状況に合わせたケアがこれで良いのかと(自分のケアに対して)疑問に思う事がある。 ・本人の声に出ていない思いの言語化。(気持ちの変化に気付けない) ・時間に追われ利用者に関わる時間が流れ作業になっている。利用者にとっては「職員が忙しいには知ったことではない」と思う。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・「出来なかった事」はもちろんのこと「出来た事」にも意識を向け「ニヤリ・ホット」として介護記録に記入して、御利用者の良いところ・出来る事どんどん挙げ、共有する。 ・暮らしシート等、適宜確認し、現在の暮らしやケア等に生かし、ケア中の表情やしぐさ等ささいな変化にも気を配り、その時々にあった介護を行うよう努める。 ・早急に共有したい情報や検討事案ある時は、臨時的に昼礼等を行って情報共有・改善を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和2年10月16日 (14:00~15:30)
	令和2年10月29日 (14:00~15:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー	13名
------	-----

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	1人	8人	3人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より利用者と家族の関係性を理解するために情報収集や定期的な分析を行い支援に繋げていく。</li> <li>・地域の中での認知度が低いため、地域活動（まちなね）に利用者と参加すると共に、地域との関係性を構築し、実際の援助または地域資源活用に繋げていく。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族、介護者や地域等の関係を理解し、臨機応変にサービス提供することにより、関係性の継続又は改善する事ができた。</li> <li>・地域活動（まちなね）にご利用者と参加する計画だったが、感染症の影響で実現出来なかった。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1人	9人	2人	1人	13人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2人	7人	2人	2人	13人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1人	8人	3人	1人	13人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1人	4人	3人	5人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全てこちらのサービスで補おうとせず、以前からの繋がりは継続して頂いている。(本人を中心としたネットワーク)</li> <li>・家族との関係は他職員との情報、共有ができていて支援に繋がっている。</li> <li>・完全ではないが本人の生活スタイルの理解ができています。</li> <li>・サービス以外の過ごし方について、本人やご家族、ケアマネから聞いた情報を確認することで把握できている。(日々のケアを通して把握するよう努めている)</li> <li>・家族、知人等からの要望に沿える様、臨機応変に支援する事ができた。</li> <li>・民生委員さんや近所の方と必要時は連絡を取るようになっている(独居、高齢世帯)</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との関係性の構築は不十分であった。(コロナの影響)</li> <li>・まちなねや地域活動の参加ができなかった。(利用者と共に参加)</li> <li>・本人を取り巻く地域資源の活用と把握。</li> <li>・本人と地域との関係が切れないような支援までには至っていない。</li> <li>・地域を意識した支援ができていない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の中での認知度を高めるため、感染症対策を行い、地域活動（まちなね）に利用者と参加して、地域との関係性を構築する。</li> <li>・地域全体が我々の職場であり、利用させて頂いている意識を持ち、今まで以上に近所の方々にも積極的に挨拶を行い、車の運転の際は余裕を持ち思いやりの運転を心掛け、日頃から地域のゴミ拾いを実施する。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和2年10月16日 (14:00~15:30) 令和2年10月29日 (14:00~15:30)
-----	--

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー	13名
------	-----

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5人	7人	1人	0人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報共有について、大きな事案のみではなく、些細なことでも共有することが出来るように、意識をしてケース記録、連絡ノートを活用していく。</li> </ul>
---------	---

前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで以上に、ケース記録や連絡ノートを活用し、情報共有ができた。</li> <li>・介護記録形式を簡略化（食事、入浴）したことで文章の内容が日々の変化や気づきを中心にしたものとなりケアに活かせるものとなってきた。</li> <li>・「悪い変化」（状態変化等）に対しては些細な事でも情報共有のため職員連絡ノートや介護記録等の活用は出来ていたが「良い変化」に関する情報共有が少なく、ご利用者の可能性を広げることが不十分だった。</li> </ul>
------------------	--

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	4人	2人	4人	3人	13人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7人	6人	0人	0人	13人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	5人	7人	1人	0人	13人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6人	6人	1人	0人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳を活用し他事業所との連携、共有を行った。</li> <li>・その時の状況に合わせて、訪問、通い等の変更を随時行えている。（臨機応変、柔軟な対応）</li> <li>・些細な事でも、気付いて記録、連絡ノートを活用して共有できて柔軟な支援に繋がっている。</li> <li>・必要なサービスを必要な適切な量で提供できている。</li> <li>・いつもと様子が違うと思うことは、記録に残し次に関わる職員に伝達している。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者本人の意向が聞けていない。</li> <li>・地域の資源を有効活用できなかった。</li> <li>・他職員に口頭で申し送る時はあるが、連絡ノートの活用が少なかった。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「良い変化」に着目し、職員連絡ノート・介護記録・ミーティング等で情報共有を行い、本人の「強み」を生きて可能性を広げていく。</li> <li>・早急に周知すべき「変化」に関しては、リーダーを中心に臨時的昼礼等を行ない周知し柔軟な支援に繋げる。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年10月16日(14:00~15:30)  
令和2年10月29日(14:00~15:30)

6. 連携・協働

メンバー 13名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	0人	3人	9人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・センターの行事は、積極的に地域への声掛けやポスター掲示を依頼し、参加を促していく。</li><li>・町内のイベントにも可能な限り利用者と参加し、相互交流を行っていく。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・感染予防を講じながらできることを行うことで、ご利用者の楽しみに少しでも繋げられた。(センター内行事)</li><li>・広報誌を活用しセンターでの活動内容を地域に紹介できた。</li><li>・感染症の影響で地域のイベント等に参加できなかった。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	5人	1人	2人	5人	13人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	3人	2人	2人	6人	13人
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0人	1人	2人	10人	13人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0人	0人	1人	12人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・関連機関との連携調整を適宜行っている。</li><li>・コミセンを利用した運営推進会議の実施し町内会や警察署との情報の共有を行っている。</li><li>・ケアマネが担当者会議や必要に応じて電話連絡等で連携を図っている。</li><li>・消防署の方に来て頂き、防災に関する訓練の実施。</li></ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・地域、他事業所のイベントの依頼や交流、参加が全くできなかった。(10月以降は参加の予定あり)</li><li>・自分自身、他事業所との連携を把握していない。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>・スタッフは関係機関とある程度連携調整できる様、各利用者様のその他のサービス機関に関する基本情報を分かりやすく整理し把握する。(ネットワーク構想図)</li><li>・センターの防災訓練や行事に関しては広報誌やポスター、回覧板等を活用し、感染症対策を行いつつ、地域の方々にも参加して頂く。</li><li>・地域のイベントにも利用者様と参加して交流を深める。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和2年10月16日(14:00~15:30) 令和2年10月29日(14:00~15:30)
-----	--

7. 運営

メンバー	13名
------	-----

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	2人	3人	7人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議には一部のスタッフしか参加が出来ていないため、計画的に参加できるようにし、運営推進会議の役割や、地域とセンターの関りについて学んでいけるようにする。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症の影響で運営推進会議の開催が少なく、限られたメンバーの参加となった。</li> <li>計画的にミーティング等でサービス評価の学習会や話し合いの場を設け、昨年度よりは地域とセンターの関わりやサービス評価について学ぶことが出来た。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	1人	3人	4人	5人	13人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2人	8人	0人	3人	13人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1人	6人	3人	3人	13人
④	地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	1人	4人	2人	6人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議にて利用者代表、家族代表の参加があり直接意見を頂いている。</li> <li>苦情クレームに対して同様の事は起こさない様注意している。</li> <li>係として運営推進会議の目的や流れ等の把握に努めた。</li> <li>事業所がより良くなるよう、意見具申や行動することができた。</li> <li>利用者や家族の意見を真摯に受け入れ運営に反映するよう努めた。</li> <li>家族から言われた事はすぐに報告している。</li> <li>意見や苦情については、周知、改善に努められるようにしている。</li> <li>運営推進会議には参加できていないが、議事録にて内容を理解している。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議の内容等をスタッフに周知できていない。</li> <li>運営推進会議の参加</li> <li>積極的に地域と協働した取り組みができていない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>多くのスタッフが参加できる様、業務の調整を行う。</li> <li>ミーティング内で地域に関し、気になること等を話し合う。</li> <li>広報誌を活用し、地域の困りごとを相談しやすいように呼びかけ、日頃の訪問業務の際も地域の困りごとに気付いたら報告して話し合う。(お互いが支え、支え合う関係作り)</li> <li>運営推進会議議事録を必ず閲覧して理解を深め学んでいく。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年10月16日(14:00~15:30)  
令和2年10月29日(14:00~15:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 13名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	7人	0人	0人	13人

前回の改善計画
・ヒヤリハット、事故報告書で挙げた改善策を実施して、決められた期間実施したのちに再評価、再検討を行っていく。 ・ヒヤリハットが積み重なり事故に繋がる。ヒヤリの時点で食い止められるように、積極的にヒヤリハットの報告を上げていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・事故報告書、ヒヤリハットに関しては決められた期間を設け、改善策による評価、再検討により再発防止につながった。(メンバー全員が共通意識を持ちケアの提供を行う) ・自ら進んで(積極的に)ヒヤリハットの報告とまではいかなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	7人	4人	0人	2人	13人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1人	3人	2人	7人	13人
③	地域連絡会に参加していますか	0人	0人	2人	11人	13人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3人	10人	0人	0人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・定期的なセンター内研修に参加できている。(ケアの質の向上に努めた) ・利用者の対応、接し方はそれぞれ気を付けている。(言葉遣いには気を付ける) ・ヒヤリを活用しリスクマネジメントに取り組んでいる。 ・係として研修、防災訓練等の実施 ・ミーティング等でケアの根拠を考え質の向上に努めた。 ・積極的にヒヤリの報告を上げ改善策の周知にて事故防止に繋がっている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・センター外の研修の参加。(地域連絡会) ・介護相談、地域作り連絡会への参加。 ・ミトン着用することあり(やむを得ない場合のみ)

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・ヒヤリハットは「良い気付き」だと捉え率先して記入し、事故防止に繋げる。 ・自分なりにケアの根拠を考え、自分のケアに自信を持つ。(自己決定による能動的な業務) ・職場内研修(OJT)に関しては新たな試みとして、小規模・特養・ヘルパー相互に見学や体験業務を行い、お互いの質の良いサービスを取り入れる。



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年10月16日(14:00~15:30)  
令和2年10月29日(14:00~15:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 13名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	6人	1人	0人	13人

前回の改善計画
・利用者に対する言葉使いや対応などで気になることがあれば、職員間でお互いに指摘し合える環境を作っていく。 ・身体拘束の解除について、担当だけでなく、事業所全体で取り組んでいく意識を各スタッフが持ち、対応していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・身体拘束については家族の意向も考慮しつつ、ミーティングで話し合いを重ね、身体拘束解除に向けて安全に考慮して段階的に行い、ほぼ達成出来た。(スタッフの意識が変わった) ・利用者に対する不適切な発言・対応に関してはミーティングで議題に上げ是正に努めたが、気付いた時にその都度スタッフ間で助言して、是正する環境作りまでには至らなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	8人	4人	1人	0人	13人
②	虐待は行われていない	11人	2人	0人	0人	13人
③	プライバシーが守られている	5人	8人	0人	0人	13人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	6人	6人	0人	1人	13人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6人	6人	1人	0人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・やむを得ず身体拘束対象者のミトン着用時して頂く際は、状態確認を行い短時間としている。(限定的に) ・個人情報の取り扱い・管理が概ね適切に実施できた。 ・利用者の対応や接し方は気を付けている。(言葉遣い)	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・「ちょっと待ってね」との言葉遣いになってしまう。 ・スタッフ間の不適切な会話や利用者に対する不適切な言葉遣い、対応に対する職員間の注意。 ・ケースを出しっぱなしにすることがあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・ケアに関してスタッフ間で助言し是正し合えるようにチームとしての意識を持つ。日頃から利用者様・スタッフ間の関係作りを大切にして、話し方、伝え方等を工夫し居心地の良い環境を作る。 ・不穏な方の精神的苦痛を軽減できるよう対策を取る。(工夫する)	